

# ⑤ 摺り



摺る時には見当を  
右手前に置きます。

引いたら  
カゲボシ  
にします。

油布片

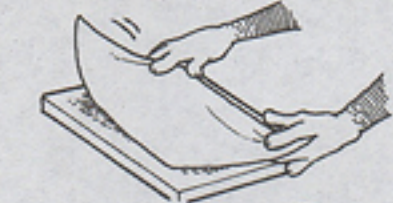
摺り上がった  
紙を置きます。

まず、奉書に<sup>どうせ</sup>鬻水を引きます。  
(ニカワ液にミョウバンを加えた  
もの。にじみ止めのためです。)

## 手順



★刷毛で絵具を版木にぬる。



★見当に合わせて紙を置く。



★馬連を使い、紙の繊維に  
色を摺り込む。



★できあがり

摺台は、手前が  
高く、向こうのめり  
になっています。  
(体から離れても力が  
強く伝わるように。)

絵具・はこび

姫糊

刷毛

馬連

## 摺りの道具

馬連 <sup>ばれん</sup>

当て皮: 和紙を貼り重ね  
布を張り、漆を  
ぬったもの。

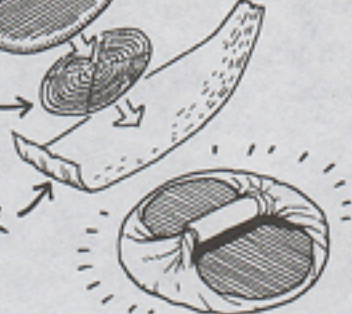
芯: 竹の皮を  
編んだひもを  
巻き固めたもの。

包み皮: 竹の皮

刷毛 <sup>はけ</sup>

絵具を版面に付ける  
もので、馬毛でできている。  
鮫皮でこすって  
毛先を割る。

くし形は  
主に墨版用



## 絵具 <sup>えのぐ</sup>

黒・紅・黄・藍など。  
原料は植物、  
鉱物など様々。  
特に黒(墨汁)は、水に漬けた墨を  
すり潰して用いる。

## はこび

絵具を金棒から版木に  
移すためのもの。  
竹の皮でできている。

## 油布切 <sup>あぶらぎ</sup>

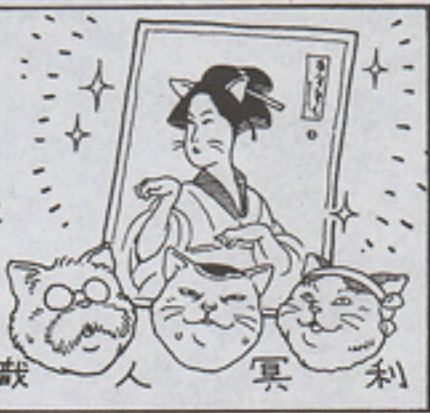
たまにこすって馬連のすべりを良くする。

## 姫糊 <sup>ひめこ</sup>

米の粉を煮た糊。絵具に  
少し加えて、乾燥防止 &  
版が紙に定着しやすいようにする。

# ⑥ 完成

版を一色ずつ  
摺り重ね、  
ついに見事な  
浮世絵が  
完成します!



浮世絵は、絵草紙屋(本屋)で  
売られました。  
値段はそば一、二杯分くらい。  
絵師・彫師・摺師の  
匠の技が光る浮世絵は  
庶民のための芸術  
だったのです。



終